

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公表番号】特表 2002-523406 (P2002-523406A)

【公表日】平成 14 年 7 月 30 日 (2002.7.30)

【出願番号】特願 2000-566260 (P2000-566260)

【国際特許分類】

C 0 7 D 303/36 (2006.01)

C 0 7 D 301/32 (2006.01)

D 0 6 M 13/11 (2006.01)

D 0 6 M 13/463 (2006.01)

D 2 1 H 11/22 (2006.01)

D 2 1 H 17/29 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 303/36

C 0 7 D 301/32

D 0 6 M 13/11

D 0 6 M 13/463

D 2 1 H 11/22

D 2 1 H 17/29

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 16 日 (2006.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 2, 3 - エポキシプロピルトリアルキルアンモニウムハリドの水溶液の色を除去もしくは低下させる方法であって、着色している 2, 3 - エポキシプロピルトリアルキルアンモニウムハリドの水溶液を有効量の、塩素、次亜塩素酸又は次亜塩素酸のアルカリ金属塩により処理することを含む方法。

【請求項 2】 前記塩素、次亜塩素酸又は次亜塩素酸のアルカリ金属塩が 200 ~ 15,000 ppm の活性塩素を与える量で用いられる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記塩素、次亜塩素酸又は次亜塩素酸のアルカリ金属塩が 600 ~ 2,500 ppm の活性塩素を与える量で用いられる、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】 2, 3 - エポキシプロピルトリアルキルアンモニウムハリドが次亜塩素酸ナトリウムにより処理される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】 着色している 2, 3 - エポキシプロピルトリアルキルアンモニウムハリドの水溶液が着色している 2, 3 - エポキシプロピルトリメチルアンモニウムクロリドの水溶液又は着色している 2, 3 - エポキシプロピルトリメチルアンモニウムブロミドの水溶液である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】 2, 3 - エポキシプロピルトリアルキルアンモニウムハリドの低着色水溶液を、カチオン物質を形成する物質によりさらに処理する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】 前記物質がスターチである、請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】 2, 3 - エポキシプロピルトリアルキルアンモニウムハリドの低着色水溶液を繊維でさらに処理してカチオン繊維を形成する、請求項 1 記載の方法。